

又、高安交並遊覽ニ遊ミ育ニ共進博覧會ニテハ、
韓譜ハ白亦マ式刺ニ號々々君安ノ風流給二百餘マ谷津煎ニ録成ニ

遊味會ノ歸來

飲出遊ニテ車馬ノテ取ルハ、
二十六日歸東ヤ、マ計廻工ハ職權副職既組ニ、知財事、其員歸事
ニ參照ナシ、事ヲ籌辦ニテ取ルハ、

ついで各工場の報告
謹んで諸氏に告ぐ

我等日本毛織株式會社職工は時勢の要求に應じ社會に於ける自己
の階級を自覺して茲に向上の發展の第一歩として萬國勞働代表選
出權を獲得を必要に感じつゝある處に會社側にては社員數十名を
誠首したるが其の慰勞金の如き一般満足を得る程でなく極めて僅
少のものであつた其の間近く工手に於ても數百名の誠首者を出す
べく風評あるを憂慮し組合なるものゝ必要を一層に感じ四月上旬
より有志相集ひ協議の結果各工友に起圖したる處幸にして一般の
贊成する處となり茲に日毛組合を建設するに至つた而して組合の
趣旨は全然鬭爭の主意不有資本家に依つて生活の安定を得るのみ
を目的とせず我等は自己の修養に依り生活の安定を目的として少
しも過激なる思想を帶せず大に團體の精華を光輝せんとす、然
るに日毛當時者は非常に我等の組合を危険視し發會前後に涉り種
々なる壓迫を講じ發會式の如きも會場に窮々たる有様にて充分の